

事業報告書

事業報告書  
平成27年度(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(1) 農作物共済関係

(引 受)

水 稲  
(一筆方式)

組合名	項目	組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	保険金額	通常歩合 保険金額	異常責任 保有保険金額	徴収保険料	交付金 (△再保険料)	手持保険料
		戸	a	kg	円	円	円	円	円	円	円
島根県東部		6,234	437,723	14,942,828	2,831,970,973	2,798,224,615	8,436,587		0		
出雲広域		9,879	774,486	27,018,920	5,241,139,086	5,174,179,272	16,739,951		0		
石見		5,957	368,586	12,605,509	2,467,091,197	2,425,706,887	10,346,075		0		
石西地区		2,788	168,546	5,633,088	1,058,000,314	1,041,177,250	4,205,764		74,534		
小計		24,858	1,749,341	60,200,345	11,598,201,570	11,439,288,024	39,728,377	55,920,253	74,534	19,008,294	19,082,828
前年度		26,134	1,791,165	61,771,889	12,075,739,443	11,913,236,780	42,414,957	40,625,660	11,579,879	5,678,082	17,257,961

(半相殺方式)

石見	4	490	19,107	3,752,446	3,694,317	14,532			0		
小計	4	490	19,107	3,752,446	3,694,317	14,532	11,202		0	8,227	8,227
前年度	4	490	19,220	3,774,620	3,710,108	16,126	14,560		22	8,866	8,888

(全相殺方式)

島根県東部	185	32,222	1,297,990	136,464,834	134,884,227	395,150			0		
出雲広域	279	54,227	2,389,145	172,022,992	168,734,098	822,222			0		
石見	29	13,359	548,901	79,553,742	77,071,666	620,519			0		
石西地区	37	4,896	182,120	15,050,268	14,749,263	75,251			18,240		
小計	530	104,705	4,418,156	403,091,836	395,439,254	1,913,142	1,756,475		18,240	1,092,648	1,110,888
前年度	512	91,190	3,748,476	372,993,842	365,258,919	1,933,728	1,811,381		659,041	432,257	1,091,298

(品質方式)

石見	6	6,823		56,497,976	55,051,628	361,587			0		
小計	6	6,823	0	56,497,976	55,051,628	361,587	335,249		0	306,906	306,906
前年度	4	5,081	0	44,209,519	43,042,387	291,782	207,767		0	204,254	204,254

(総計)

合計	25,398	1,861,359	64,637,608	12,061,543,828	11,893,473,223	42,017,638	58,023,179		92,774	20,416,075	20,508,849
前年度	26,654	1,887,925	65,539,585	12,496,717,424	12,325,248,194	44,656,593	42,659,368		12,238,942	6,323,459	18,562,401

<引受の概要>

・水 稲

引受面積は、昨年産より約266ha減少した(対前年比98.6%)。引受戸数は昨年から1,256戸の減少、対前年比95.1%となった。面積・戸数減少の要因は、高齢化に伴う後継者不足による自然減及び営農組織等への集約・参加促進、また生産数量目標の減少によるものと推測される。一筆方式では主食用米で633ha減少、米粉用米は5ha増加し、飼料用米は367ha増加している。飼料用米を除いた対統計作付面積引受率は97.8%である。全相殺方式では、主食用米で県東部2戸、出雲広域7戸、石見16戸、石西地区1戸の引受があり、県東部・出雲広域・石西地区ともに全量をJAに出荷している大型農家の引受が中心で、石見は検見実測全相の引受が主体となっている。主食用米の全相殺方式での加入率は戸数で0.1%、面積で1.9%(対前年101.1%)となった。前年と比較して県東部で新たに一筆方式から変更した大型農家が1戸あり、石見では2戸が全相殺方式から品質方式に加入を変更した。飼料用米の27年産作付面積は1,074ha(JA調べ)で前年産に比べて370haの増となった。全相殺方式での加入が主となっているが、一括管理方式の実施地域が拡大し、一筆方式での引受も伸びている。全相殺方式では県東部183戸、出雲広域272戸、石見13戸、石西地区36戸の加入があり、飼料用米における全相殺方式での加入率は戸数で56.8%、面積で63.1%となった。前年と比較して戸数で19戸、面積で約131haの増となっている。

26年度 麦 (27年産) (一筆方式)

項目 組合名	組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	保険金額	通常歩合 保険金額	異常責任 保有保険金額	徴収保険料	交付金 (△再保険料)	手持保険料
島根県東部	戸 3	a 396	kg 3,678	円 139,862	円 133,176	円 2,227		円 422		円
出雲広域	72	24,007	370,793	36,764,026	34,978,647	595,125		0		
石見	1	132	1,148	21,812	20,634	392		99		
石西地区	7	239	2,152	34,355	32,503	616		143		
小計	83	24,775	377,771	36,960,055	35,164,960	598,360	161,469	664	514,444	515,108
前年度	87	24,820	386,654	42,590,950	39,808,183	927,585	262,254	7,599	797,457	805,056

26年度 麦 (27年産) (全相殺方式)

島根県東部	5	1,710	29,754	416,556	384,690	10,622		0		
出雲広域	29	36,044	901,409	112,455,370	105,881,927	2,191,146		16,855		
小計	34	37,753	931,163	112,871,926	106,266,617	2,201,768	658,786	16,855	2,086,795	2,103,650
前年度	33	33,007	852,349	112,214,122	104,892,151	2,440,657	708,964	0	2,320,467	2,320,467

26年度 麦 (27年産) (総計)

合計	117	62,528	1,308,934	149,831,981	141,431,577	2,800,128	820,255	17,519	2,601,239	2,618,758
前年度	120	57,827	1,239,003	154,805,072	144,700,334	3,368,242	971,218	7,599	3,117,924	3,125,523

27年度 麦 (28年産) (一筆方式)

項目 組合名	組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	保険金額	通常歩合 保険金額	異常責任 保有保険金額	徴収保険料	交付金 (△再保険料)	手持保険料
島根県東部	戸 3	a 198	kg 1,421	円 21,469	円 20,470	円 332		円 336		円
出雲広域	63	19,585	300,296	32,840,479	30,982,907	619,189		663		
石見	1	123	1,090	20,710	19,468	414		0		
石西地区	2	92	1,008	21,049	19,993	351		295		
小計	69	19,997	303,815	32,903,707	31,042,838	620,286	181,790	1,294	414,729	416,023
前年度	83	24,775	377,771	36,960,055	35,164,960	598,360	161,469	664	514,444	515,108

27年度 麦 (28年産) (全相殺方式)

島根県東部	4	2,115	36,109	613,853	565,512	16,113		9,654		
出雲広域	36	38,181	925,515	128,517,659	121,238,663	2,426,331		382,502		
小計	40	40,296	961,624	129,131,512	121,804,175	2,442,444	1,297,460	392,156	1,728,999	2,121,155
前年度	34	37,753	931,163	112,871,926	106,266,617	2,201,768	658,786	16,855	2,086,795	2,103,650

27年度 麦 (28年産) (総計)

合計	109	60,292	1,265,439	162,035,219	152,847,013	3,062,730	1,479,250	393,450	2,143,728	2,537,178
前年度	117	62,528	1,308,934	149,831,981	141,431,577	2,800,128	820,255	17,519	2,601,239	2,618,758

<引受の概要>

・麦 (平成28年産)

引受面積は対前年比96.4%となり、22.4haの減少となった。一筆引受方式では7割補償61戸、6割補償1戸、5割補償7戸の引受、全相殺方式では9割補償38戸、8割補償1戸、7割補償1戸の引受である。経営所得安定対策に係る畑作物の直接支払交付金への加入申請者は小麦と裸麦で26戸となった。単位当たり共済金額の選択では、第1位選択95戸、第2位以下第9位までの選択が14戸となった。

(被 害)  
水 稻  
(一筆方式)

組合名	項目	被害組合員数	共済減収量	共済金	保険金	共済金／共済金額
		戸	kg	円	円	%
島 根 県 東 部		103	43,804	7,101,092	1,420,218	0.3
出 雲 広 域		212	70,285	13,635,032	2,727,006	0.3
石 見		285	97,646	19,182,367	3,836,472	0.8
石 西 地 区		136	47,310	9,028,990	1,805,797	0.9
小 計		736	259,045	48,947,481	9,789,493	0.4
前 年 度		1,033	325,837	64,227,279	12,845,452	0.6

(半相殺方式)

石 見		0	0	0	0	0.0
小 計		0	0	0	0	0.0
前 年 度		0	0	0	0	0.0

(全相殺方式)

島 根 県 東 部		2	149	5,960	1,192	0.0
出 雲 広 域		9	26,805	721,164	144,232	0.4
石 見		8	9,376	1,856,448	371,289	2.3
石 西 地 区		1	1,188	47,520	9,504	0.3
小 計		20	37,518	2,631,092	526,217	0.7
前 年 度		8	10,974	2,064,780	412,956	0.5

(品質方式)

石 見		1	11,689	197,894	39,578	0.4
小 計		1	11,689	197,894	39,578	0.4
前 年 度		0	0	0	0	0.0

(総 計)

合 計		757	308,252	51,776,467	10,355,288	0.4
前 年 度		1,041	336,811	66,292,059	13,258,408	0.5

<被害状況及び評価の概要>

・ 水 稻

〔一筆方式〕

イノシシを主体とする獣害（その他サル・シカ等）が県下全域で発生した。被害面積では全体の42.5%、減収量では52.6%を占めた。県下の山間部を中心にイモチ病・紋枯病が発生した。特に石見、石西地区管内で多く見られた。9月の断続的な降雨や8月の台風接近により、県下全域で倒伏被害が発生したほか、一部地域では穂ずれ、塩害が発生した。8月下旬以降からの低温・日照不足により登熟が不良となった。スズメを主体とする鳥による食害が早稲品種で発生したほか、カラスによる食害も見られた。4、5月の降水量が少なかったことから、県東部管内では移植不能耕地が発生した。

〔半相殺方式〕被害無し

〔全相殺方式〕

全相殺方式は主食用米の石見で8戸、飼料用米で島根県東部が2戸、出雲広域が9戸、石西地区が1戸の被害となった。8月の長雨や台風15号による倒伏や穂ずれ、不稔が出雲広域と石見に発生した。4、5月の降水量が少なかったことから、東部管内では移植期の生育不良が発生した。ごま葉枯れ病による減収が出雲広域で発生した。イノシシによる獣害が中山間地を中心に県下全域で発生した。

〔品質方式〕

邑南町でイモチ病による減収が発生し、1戸が初めて支払対象となった。

麦（27年産）

（一筆方式）

項目 組合名	被害組合員数	共済減収量	共済金	保険金	共済金／共済金額
	戸	kg	円	円	%
島根県東部	0	0	0	0	0.0
出雲広域	22	21,996	1,944,985	486,246	5.3
石見	0	0	0	0	0.0
石西地区	1	67	938	234	2.7
小計	23	22,063	1,945,923	486,480	5.3
前年度	35	27,074	3,026,111	757,347	7.1

（全相殺方式）

島根県東部	2	6,231	87,234	55,368	20.9
出雲広域	15	78,299	9,109,956	2,686,131	8.1
小計	17	84,530	9,197,190	2,741,499	8.1
前年度	14	30,286	3,929,904	982,476	3.5

（総計）

合計	40	106,593	11,143,113	3,227,979	7.4
前年度	49	57,360	6,956,015	1,739,823	4.5

<被害状況及び評価の概要>

・麦

1 1月（播種期）から2月初旬（幼穂形成期）にかけて断続的な降雨となり、土壌は湿潤状態が続いたことから、全県的に発芽不良、生育不良となった圃場が見られた。一筆7割の被害面積の内、95%を土壌湿潤害が占めた。出雲広域・石西地区では発芽不能等耕地を確認した。出雲広域で1月下旬、宍道湖岸でマガンによる食害を受けた圃場が見られたほか、収穫期にはスズメ・カラスによる食害が発生した。島根県東部の安来平野で、1月下旬、白鳥による食害を受けた圃場が発生した。

(支 払)

区 分	項 目	支払月日	支払保険金	保 険 金 支 払 財 源				
				再保険金	手持保険料充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他
水	稲	H27. 12. 15 (H28. 2. 23)	円 10,355,288 ( 526,217)	円	円 10,355,288	円	円	円
	麦	H27. 9. 29 (H27. 9. 29)	円 3,227,979 (2,741,499)		円 3,227,979			

( ) 内の数字は全相殺方式分で内数

(損害防止)

水稻被害防止対策として、水稻損害防止事業、発生予察事業、水稻担い手等生産支援対策事業（積算温度計貸与）、水稻土壌診断事業を実施した。組合に総額1,341千円を負担金として交付した。

項 目	損害防止事業負担金	備 考
水稻損害防止事業	円 1,275,566	総事業費：97,878,732円
発生予察事業	12,000	
水稻担い手等生産支援対策事業	0	
水稻土壌診断事業	53,784	薬剤等事業費：53,784 円
計	1,341,350	

(2) 家畜共済関係

(引 受)

項目 区分	有資格 頭数	事業計画 頭数	引受 頭数	引受頭数	共済金額	保 険 金 額	再 保 険 金 額	徴収保険料	組 合 等 交 付 金	納 入 再 保 険 料	交 付 金	手 持 保 険 料	技 術 料
				事業計画頭数									
乳用牛等	9,293	10,674	10,220	95.7	2,333,359	1,866,687,200	1,166,679,500					87,467,986	137,297,753
胎 児		9,408	9,504										
肉用牛等	28,814	28,299	28,040	99.1	7,874,152	6,299,321,600	3,937,076,000					76,197,620	192,042,365
胎 児		10,233	9,981										
一 般 馬	70	58	72	124.1	25,351	20,280,800	12,675,500					398,683	64,290
種 豚	3,539	2,194	2,088	95.2	111,338	89,070,400	55,669,000					27,054	0
肉 豚	33,503	20,166	21,306	105.7	251,850	201,480,000	125,925,000					9,320,002	0
乳用種雄牛	0	0	0	0.0	0	0	0						0
肉用種雄牛	0	0	0	0.0	0	0	0						0
種 雄 馬	0	0	0	0.0	0	0	0						0
計	75,219	81,032	81,211	100.2	10,596,050	8,476,840,000	5,298,025,000	53,131,884	15,946,005		136,225,466	173,411,345	329,404,408
前 年 度	77,446	80,394	81,825	101.8	10,154,429	8,123,543,200	5,077,214,500	42,411,396	15,577,301		137,073,648	163,907,743	317,189,638

(注) 有資格頭数については、肉用牛等、乳用牛等の欄は胎児分は含まない。

肉用牛等の引受状況

(単位:頭)

	肥育牛	その他肉用牛等			肉用牛等 合 計
		成牛・子牛	胎児	計	
事業計画	15,798	12,501	10,233	22,734	38,532
引受頭数	15,515	12,525	9,981	22,506	38,021

< 引受の概要 >

評価額は家畜市場価格が上昇したため、昨年より全体に高くなった。

乳牛の雌等の廃業が島根県東部で5件、出雲広域で5件、石見で2件あり成乳牛が230頭減少し、乳牛の雌全体で240頭の減少となった。肥育用牛は肥育素牛価格の高騰の影響により、420頭の減少となった。また、その他の肉用牛では、子牛市場価格は上昇したが引受頭数の減少傾向に歯止めがかからず、対前年比で55戸、480頭の減少となった。牛全体でみると引受頭数は減少したが、評価額は高くなり付保割合の維持に努めた結果、共済金額が3億5,000万円の増加となった。豚について、種豚の引受頭数は100頭減少し、共済金額が1,900万円減少したが、肉豚の引受頭数は280頭増加し、共済金額で1億230万円増加した。技術料は乙の上乗せ分も合わせて1,200万円の増加となった。

## (事 故)

区 分	死 廃 事 故					病 傷 事 故		
	死亡頭数	廃用頭数	総頭数	共済金	支払保険金	件数	共済金	支払保険金
	頭	頭	頭	円	円	件	円	円
乳 用 牛 等	554	195	1,268	174,249,299	139,398,977	27,094	208,911,920	65,627,790
胎 児	519							
肉 用 牛 等	382	96	812	136,981,245	109,584,760	45,364	232,142,190	69,825,004
胎 児	334							
一 般 馬	3	1	4	1,296,061	1,036,848	5	30,270	9,096
種 豚	0	0	0	0	0	0	0	0
肉 豚	3,217	0	3,217	28,309,504	22,646,368	0	0	0
乳用種種雄牛	0	0	0	0	0	0	0	0
肉用種種雄牛	0	0	0	0	0	0	0	0
種 雄 馬	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5,009	292	5,301	340,836,109	272,666,953	72,463	441,084,380	135,461,890
前 年 度	4,220	280	4,500	304,678,993	243,501,929	72,809	432,631,000	130,896,674

## &lt; 事故の概要 &gt;

## ・死廃事故

乳牛の雌は、夏季の暑熱の影響が大きく、昨年に比べ死廃事故件数で120頭、支払共済金で2,227万円増加した。

肉用牛については、その他の肉用牛で引受頭数の減少に伴い、死廃事故件数、支払共済金はそれぞれ56頭、395万円の減少となった。肥育用牛は冬季になって死廃事故が増加し、支払共済金が500万円増加した。

## ・病傷事故

乳牛の雌は、冬季には事故は減少したものの、夏季の暑熱の影響が大きく、昨年度に比べ事故件数が増加し、支払共済金が1,200万円増加した。

肉用牛については、その他の肉用牛、肥育牛ともに事故が減少し、支払共済金はその他の肉用牛で310万円、肥育用牛で480万円の減少となった。

(損害防止)

区分

実施種目		対象頭数又は回数	経費概算	摘要
特定損害防止		頭(回) 4,731	円 15,936,330	乳牛(周産期疾患・乳房炎・運動器疾患)、肉用牛(繁殖障害)子牛(寄生虫性腸炎)
一般損害防止	健康検査	514	777,360	血液検査による代謝プロファイルテスト
	予防衛生措置	46,406	39,139,710	肝蛭の駆虫、磁石の投与など
	飼養管理指導	5,197	5,516,298	ミネラル剤、ビタミン剤等の投与指示
	講習会等			
計		52,117	45,433,368	

(損害防止の概要)

家畜の事故防止を図るため血液検査や

細菌検査等の損害防止事業を実施した。

特損事業への国からの交付金は9,561千円

であった。

(診療所)

診療所名	獣医師数	管内		診療件数		損害防止事業			摘要
		有資格頭数	加入頭数	共済事故	事故外	一般	特損	経費概算	
	人	頭	頭	件	件	頭(回)	頭	円	
東部	5	2,820	2,298	3,280	1,182	8,389	180	8,435,150	
雲南	8(2)	13,925	10,978	7,663	2,477	14,000	451	15,147,724	
出雲	8(1)	5,573	5,082	11,829	1,480	12,317	680	16,486,006	
石見	10(2)	38,753	34,259	13,576	3,128	10,909	952	13,414,914	
石西	11(9)	11,038	14,558	31,737	442	2,151	59	2,674,812	
東部(隠岐)	2(1)	3,110	3,132	3,217	1,830	4,351	251	5,211,092	
計	44(15)	75,219	70,307	71,302	10,539	52,117	2,573	61,369,698	

獣医師数は、嘱託含む( )内は嘱託。

(3) 果樹共済関係 (ぶどう・かき・くり)

(引 受)

・半相殺減収総合一般方式(収穫共済)

共済目的の種類	年 産	組合数	組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	保険金額	徴収保険料	交付金 (△再保険料)	手持保険料
				a	kg	円	円	円	円	円
ぶどう	27 年 産	1	延実 戸 26 21	1,084.3	120,292	26,324,000	25,228,657	648,023	127,488	775,511
	28 年 産	1	延実 戸 21 18	861.8	92,504	20,960,000	20,093,513	504,158	104,972	609,130
	増 減	0	延実 △ 5 △ 3	△ 222.5	△ 27,788	△ 5,364,000	△ 5,135,144	△ 143,865	△ 22,516	△ 166,381
か き	27 年 産	2	延実 戸 12 12	594.0	21,618	3,089,000	2,962,623	93,162	△ 2,919	90,243
	28 年 産	2	延実 戸 13 13	648.0	22,439	3,635,000	3,486,532	110,526	△ 4,773	105,753
	増 減	0	延実 戸 1 1	54.0	821	546,000	523,909	17,364	△ 1,854	15,510

・半相殺減収総合短縮方式(収穫共済)

共済目的の種類	年 産	組合数	組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	保険金額	徴収保険料	交付金 (△再保険料)	手持保険料
				a	kg	円	円	円	円	円
か き	27 年 産	1	延実 戸 10 10	234.2	12,535	1,586,000	1,519,577	32,387	16,017	48,404
	28 年 産	1	延実 戸 9 9	225.0	11,867	1,723,000	1,652,236	26,416	14,470	40,886
	増 減	0	延実 △ 1 △ 1	△ 9.2	△ 668	137,000	132,659	△ 5,971	△ 1,547	△ 7,518

・全相殺減収総合方式(収穫共済)

共済目的の種類	年 産	組合数	組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	保険金額	徴収保険料	交付金 (△再保険料)	手持保険料
				a	kg	円	円	円	円	円
か き	27 年 産	3	戸 53	2,231.4	224,671	34,816,000	33,521,521	592,736	36,497	629,233
	28 年 産	3	50	2,140.1	235,176	40,991,000	39,462,045	708,301	50,686	758,987
	増 減	0	△ 3	△ 91.3	10,505	6,175,000	5,940,524	115,565	14,189	129,754
く り	27 年 産	1	24	1,126.5	6,544	1,988,000	1,872,000	90,751	54,670	145,421
	28 年 産	1	19	963.5	6,395	2,010,000	1,892,716	91,756	55,275	147,031
	増 減	0	△ 5	△ 163.0	△ 149	22,000	20,716	1,005	605	1,610

・樹園地単位減収総合一般方式（収穫共済）

共済目的の種類	年産	組合数	組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	保険金額	徴収保険料	交付金 (△再保険料)	手持保険料
			戸	a	kg	円	円	円	円	円
ぶどう	27年産	3	延実 322 322	9,737.9	1,006,520	474,945,000	457,771,674	2,377,183	3,691,830	6,069,013
	28年産	3	延実 290 290	8,808.5	921,287	433,505,000	417,827,396	2,147,926	3,384,068	5,531,994
	増減	0	延実 △32 △32	△929.4	△85,233	△41,440,000	△39,944,278	△229,257	△307,762	△537,019
かき	27年産	1	延実 1 1	63.0	4,187	558,000	535,835	7,392	5,301	12,693
	28年産	2	延実 2 2	86.4	4,918	744,000	714,348	10,319	6,921	17,240
	増減	1	延実 1 1	23.4	731	186,000	178,513	2,927	1,620	4,547

・樹園地単位減収総合短縮方式（収穫共済）

共済目的の種類	年産	組合数	組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	保険金額	徴収保険料	交付金 (△再保険料)	手持保険料
			戸	a	kg	円	円	円	円	円
かき	27年産	1	延実 17 17	424.3	22,657	2,793,000	2,684,323	34,581	24,853	59,434
	28年産	1	延実 18 18	446.6	23,837	3,325,000	3,199,214	28,029	22,943	50,972
	増減	0	延実 1 1	22.3	1,180	532,000	514,891	△6,552	△1,910	△8,462

・樹体共済

共済目的の種類	年度	組合数	組合員数	引受面積	共済価額	共済金額	保険金額	徴収保険料	交付金 (△再保険料)	手持保険料
			戸	a	円	円	円	円	円	円
ぶどう	26年度	1	12	773.5	92,388,842	58,959,000	57,062,878	102,588	70,751	173,339
	27年度	1	12	816.5	231,363,071	92,550,000	89,573,592	161,037	111,060	272,097
	増減	0	0	43.0	138,974,229	33,591,000	32,510,714	58,449	40,309	98,758

<引受の概要>

・ぶどう

ぶどう収穫共済の引受は、生産農家の高齢化に伴う廃園等により、戸数は前年比89.8%（35戸減）となり、面積も89.4%（1,151.9a減）となった。

・かき

戸数は前年比98.9%（1戸減）、面積は前年比100.0%（0.8a減）となった。

・くり

戸数で前年比100.0%（増減なし）、面積は105.6%（43.0a増）となった。

(被 害)

果樹共済再保険区分 項目	被害組合数		被害組合員数		認定減収量又は損害の額 kg(円)	共 済 金 円	保 険 金 円	共済金／共済金額 %
			戸					
ぶ ど う (収穫共済・半相殺減収総合一般方式)			(延) 0					
	前年度	1	(実) 0	0	0	0	0	0.0
ぶ ど う (収穫共済・樹園地単位減収総合一般方式)			(延) 34					
	前年度	2	(実) 34	34	22,699	4,659,280	3,261,496	1.0
ぶ ど う (樹体共済)			(延) 4					
	前年度	1	(実) 4	4	1,021,326	709,101	560,476	1.2
か き (半相殺減収総合一般方式)			(延) 1					
	前年度	1	(実) 1	1	696	43,040	30,128	0.0
か き (半相殺減収総合短縮方式)			(延) 0					
	前年度	0	(実) 0	0	0	0	0	0.0
か き (樹園地減収総合一般方式)			(延) 0					
	前年度	1	(実) 2	2	950	66,800	46,760	4.4
か き (樹園地減収総合短縮方式)			(延) 0					
	前年度	0	(実) 0	0	0	0	0	0.0
か き (樹園地減収総合短縮方式)			(延) 0					
	前年度	1	(実) 1	1	531	52,000	36,400	1.9
か き (全相殺減収総合方式)			(延) 2					
	前年度	2	(実) 8	8	12,643	747,700	523,390	2.1
く り (全相殺減収総合方式)			(延) 1					
	前年度	1	(実) 2	2	341	81,850	57,295	4.1
合 計			(延) 7					
	前年度	10	(実) 49	49	1,057,705	6,240,971	4,432,785	
	前年度	10	(実) 58	58	744,114	8,108,760	5,784,729	

<果樹被害状況及び評価の概要>

・ぶどう

〔収穫共済〕

4類（デラウェア）は紋羽病が発生。ジベレリン処理後の降雨による花振るいや、着色期の天候不順で着色不良の被害。7月の降雨により裂果の被害。カイガラムシの虫害。

4類（ピオーネ）ではクビアカスカシバによる被害。4類（巨峰）でスリップスの被害。

4類（シャインマスカット）では、黒カビ病やハダニの被害が発生した。

〔樹体共済〕

紋羽病による樹体の枯死が発生した。

・かき

4月9日の降霜及び低温により発芽期の花芽が枯死し着果不足の被害が発生した。5月12日～13日台風6号と低気圧の通過に伴う強風により、落葉や枝折れ、葉や蕾の損傷被害が発生。8月下旬からの長雨多雨の影響で9月中旬より樹上軟化や落果が発生した。

・くり

7、8月の高温により小粒果が多く、また枯死により減収。

クマ・イノシシによる食害で減収。

## (支 払)

果樹共済再保険区分 項目	支払月日	実支払保険金	保 険 金 支 払 財 源					実支払保険金
			再保険金	手持保険料充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	保 険 金
ぶ  ど う (収穫共済・半相殺減収総合一般方式)		円 0	円	円	円	円	円	%
ぶ  ど う (収穫共済・樹園地単位減収総合一般方式)	H27.12.15	3,261,496	0	3,261,496				100.0
ぶ  ど う (樹体共済)	H27.8.11	560,476	213,686	173,339	21,949	151,502		100.0
か  き (半相殺減収総合一般方式)	H28.3.15	30,128		30,128				100.0
か  き (半相殺減収総合短縮方式)		0						
か  き (樹園地単位減収総合一般方式)		0						
か  き (樹園地単位減収総合短縮方式)		0						
か  き (全相殺減収総合方式)	H28.3.15	523,390	0	523,390				100.0
く り (全相殺減収総合方式)	H28.2.23	57,295	0	57,295				100.0
合 計		4,432,785	213,686	4,045,648	21,949	151,502	0	

## (損害防止)

果樹(ぶどう)土壌診断事業を実施した。

項 目	内 容
果樹(ぶどう)土壌診断事業	総事業費:84,564円

(4)畑作物共済関係

(引 受)

年 度	畑作物共済再保険区分		組 合 数	組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	保険金額	徴収保険料	交 付 金 (△再保険料)	手持保険料
	区 分	共 済 目 的									
27年度	第一区分	大豆一筆	3	39	6,842.9	61,094	8,105,258	/	244,548	/	/
		大豆半相殺	3	7	1,867.6	18,450	2,069,278	/	65,573	/	/
		小 計	6	46	8,710.5	79,544	10,174,536	9,157,081	310,121	278,501	588,622
	第二区分	大豆全相殺	4	49	47,920.3	730,376	138,721,754	124,849,578	5,380,607	2,524,826	7,905,433
		大 豆 計	10	95	56,630.8	809,920	148,896,290	134,006,659	5,690,728	2,803,327	8,494,055
	第三区分	そば全相殺	2	81	22,287.9	65,063	26,993,541	24,294,186	1,077,062	△ 315,479	761,583
	計	延	12	176							
実	4	168	78,918.7	874,983	175,889,831	158,300,845	6,767,790	2,487,848	9,255,638		
26年度	第一区分	大豆一筆	4	42	9,661.0	82,118	19,951,767	/	613,016	/	/
		大豆半相殺	3	10	2,738.9	23,551	5,513,010	/	174,058	/	/
		小 計	7	52	12,399.9	105,669	25,464,777	22,918,297	787,074	714,231	1,501,305
	第二区分	大豆全相殺	4	46	43,942.1	613,801	129,208,407	116,287,566	5,524,822	2,605,786	8,130,608
		大 豆 計	11	98	56,342.0	719,470	154,673,184	139,205,863	6,311,896	3,320,017	9,631,913
	第三区分	そば全相殺	2	72	18,988.0	63,352	39,353,260	35,417,934	1,721,724	△ 490,978	1,230,746
	計	延	13	170							
実	4	162	75,330.0	782,822	194,026,444	174,623,797	8,033,620	2,829,039	10,862,659		

<引受の概要>

大 豆

県下の大豆作付面積は953haと13ha減少したが、引受面積は約3ha増加し対前年比100.5%となり、引受率は59.4%であった。

また、各加入方式の引受面積の占有率は、一筆方式が12.1%、半相殺方式が3.3%、全相殺方式が84.6%であった。

そ ば

県下のそば作付面積は前年より14ha増加し642haとなった。引受面積は約30ha増（対前年比117.4%）となり、引受率は34.7%であった。

## (被害)

年 度	畑作物共済再保険区分		被害組合数	被害組合員数	共済減収量	共済金	保険金	共済金／共済金額
	区 分	共 済 目 的						
27年度	第一区分	大豆一筆	3	戸 17	kg 8,775	円 970,833	円 873,748	% 12.0
		大豆半相殺	2	2	201	70,083	63,073	3.4
		小 計	5	19	8,976	1,040,916	936,821	10.2
	第二区分	大豆全相殺						
		大豆計	5	19	8,976	1,040,916	936,821	10.2
	第三区分	そば全相殺	2	32	9,160	3,939,142	3,545,227	14.6
		計	延 7 実 4	延 51 実 51	18,136	4,980,058	4,482,048	13.4
26年度	第一区分	大豆一筆	3	19	6,426	1,712,032	1,540,828	8.6
		大豆半相殺	2	7	1,170	323,057	290,750	5.9
		小 計	5	26	7,596	2,035,089	1,831,578	8.0
	第二区分	大豆全相殺	3	10	19,678	4,516,556	4,064,899	3.5
		大豆計	8	36	27,274	6,551,645	5,896,477	4.2
	第三区分	そば全相殺	2	54	23,853	14,215,190	12,793,670	36.1
		計	延 10 実 4	延 90 実 84	51,127	20,766,835	18,690,147	10.7

## &lt;被害状況及び評価の概要&gt;

## 大豆

主要災害は収穫期（11月～12月）の長雨・高温による雨害湿潤害で、カビの発生等による子実の整粒歩合の低下に伴う減収が発生した。このほか、6月下旬から7月上旬の降雨による土壌湿潤害、登熟期の9月上旬から中旬にハスモンヨトウによる虫害、下旬にイノシシによる獣害が一部で発生した。災害別の減収量の占有率は、雨害湿潤害83.0%、土壌湿潤害12.2%、獣害3.1%、虫害1.7%であった。結果として、金額被害率が10.2%と通常標準被害率7.9%を超えたため、再保険金を要する異常災害となった。（再保険第1区分）なお、全相殺大豆（再保険第2区分）については、第1区分同様に収穫期の雨害湿潤害により異常災害となったが、農林水産大臣の認定が4月にずれ込んだため、保険金の仮渡し（島根県東部を除く3組合：30,344,774円）を行った。また、決算処理については、納入保険料等を支払備金（7,905,433円）として28年度に繰り入れた。

## そば

8月中旬から9月中旬の多雨により、特に8月後半に播種されたそばに土壌湿潤害が発生した。この影響で、生育不良や株の枯死が発生して減収となった。また、この多雨の期間が低温・日照不足で推移したことが、減収量を更に拡大させた。結果として、金額被害率が14.6%と通常標準被害率4.7%を超えたため、再保険金を要する異常災害となった。

(支払)

畑作物共済再保険区分 区 分 共 済 目 的		支払月日	実支払保険金	保 険 金 支 払 財 源					実支払保険金
				再保険金	手持保険料充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	保険金
第一区分	大豆 半相殺・一 筆	H28. 3. 29	円 936, 821	円 202, 741	円 588, 622	円 145, 458	円	円	% 100. 0
第二区分	大豆 全相殺								
第三区分	そば 全相殺	H28. 3. 15	円 3, 545, 227	円 2, 283, 230	円 761, 583			円 500, 414	円 100. 0

<損害防止>

大豆の損害防止対策として、畑作物共済（大豆）損害防止事業を実施した。  
組合が実施した有害獣の侵入防止機設置・捕獲助成に対し、68千円を交付した。

項目 事業名	損害防止事業負担金 円	備 考
大豆損害防止事業	67, 863	総事業費 : 3, 721, 720円

(5)園芸施設共済関係

(引 受)

施設区分	項目	組合数	組合員数		引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額	保険金額	徴収保険料	交付金 (△再保険料)	手持保険料	責任準備金
			延戸数	実農家数									
			戸	戸	棟	a	千円	千円	千円	円	円	円	円
ガラス室Ⅱ類		3	10	10	26	107	108,394	79,611	71,650	16,174	14,172		
プラスチックハウスⅡ類		4	1,905	1,485	4,920	20,681	3,703,727	2,631,815	2,368,634	19,075,313	8,606,317		
プラスチックハウスⅢ類		3	14	14	22	246	72,609	52,452	47,207	71,956	72,537		
プラスチックハウスⅣ類甲		4	17	16	22	185	96,481	75,495	67,946	245,056	264,126		
プラスチックハウスⅣ類乙		4	22	22	43	469	263,948	207,450	186,705	360,228	270,307		
プラスチックハウスⅤ類		3	17	16	34	110	143,048	114,405	102,965	180,359	169,722		
プラスチックハウスⅥ類		4	27	24	114	507	74,812	57,779	52,001	289,542	166,550		
プラスチックハウスⅦ類		2	18	16	61	2,512	111,175	86,949	78,254	126,651	134,398		
計		4	2,030	1,603	5,242	24,817	4,574,194	3,305,956	2,975,360	20,365,279	9,698,129	30,063,408	15,345,232
前年度		4	2,074	1,628	5,271	25,180	2,713,730	1,946,331	1,751,698	21,540,334	8,611,567	30,151,901	16,381,581

<施設区分概要>項目

(実266)

引受は前年度対比で戸数97.9%、棟数99.4%、面積98.6%に減少した。減少の主な原因は高齢化、経済的理由、規模縮小等である。一方、共済金額は、補償の拡充により大幅に増加(169.9%)した。

## (被 害)

施設区分	項目	組合数	組合員数	棟数	附帯施設	損害額	共済金	保険金	共済金 共済金額
			戸	棟	基	円	円	円	%
ガラス室	Ⅱ類	1	1	1	0	35,184	28,112	25,300	0.04
プラスチックハウス	Ⅱ類	4	230	268	3	26,596,962	20,859,962	18,773,852	0.79
プラスチックハウス	Ⅲ類	2	2	2	0	169,473	125,248	112,722	0.24
プラスチックハウス	Ⅳ類甲	1	1	1	0	47,919	38,335	34,501	0.05
プラスチックハウス	Ⅳ類乙	1	1	1	1	149,290	119,432	107,488	0.06
プラスチックハウス	Ⅴ類	1	6	6	2	894,977	715,948	644,351	0.63
プラスチックハウス	Ⅵ類	1	3	9	0	2,641,712	2,090,534	1,881,478	3.62
プラスチックハウス	Ⅶ類	1	5	32	0	13,433,000	10,746,400	9,671,760	12.36
	計	4	249	320	6	43,968,517	34,723,971	31,251,452	1.05
	前年度	4	200	243	1	18,300,812	14,381,042	12,942,839	0.74

## &lt;被害状況及び評価の概要&gt;

27年度は、附帯施設を合わせて320棟(基)が共済金支払対象となった。8月は8月25日の台風15号(最大瞬間風速31.3m/s:浜田)等で、60戸104棟、本体・被覆材の風害被害等が発生した。また、1月は1月23日から25日にかけて降った水分を多く含んだ降雪(邑南町:最深積雪102cm)等で、県内で81戸94棟に本体被覆材被害等が発生した。内作物の被害はメロンの病虫害事故(つる割病、センチュウ病、疫病等)が主な被害であった。

## (平成27年度の共済金の内訳)

特定園芸施設	32,883,254円	風 害	19,682,621円
附帯施設	871,528円	雪 害	13,419,109円
施設内農作物	863,932円	風雪害	0円
撤去費用	0円	病虫害	863,932円
本体復旧費用	0円	その他	758,309円
附帯復旧費用	105,257円	その他(カラス・雷)	

## (支 払)

実支払保険金	保 険 金 支 払 財 源					実支払保険金
	再保険金	手持保険料充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	保 険 金
円	円	円	円	円	円	%
31,251,452	7,619,136	23,632,316				100.0

## (損害防止)

園芸施設共済損害防止対策事業として補修テープを配布した。

事業名	項目	損害防止事業負担金	備 考
		円	
園芸施設共済損害防止対策事業		499,550	

## (6)任意共済関係

### 1 建物共済 (引 受)

#### (1)農家建物

組合名	項目 加入棟数	保険金額	保険料			1棟当たり平均 保険金額	再共済掛金	再共済 手数料収入
			純保険料	賦課金	合計			
島根県東部	棟 23,227	千円 304,588,790	円 147,256,312	円 11,027,084	円 158,283,396	千円 13,114		
出雲広域	49,843	622,537,860	323,276,831	23,840,016	347,116,847	12,490		
石見	20,350	250,621,480	124,323,530	9,118,055	133,441,585	12,316		
石西地区	9,788	94,074,820	67,284,626	3,698,238	70,982,864	9,611		
計	103,208	1,271,822,950	662,141,299	47,683,393	709,824,692	12,323	345,271,842	131,053,859
前年度	105,577	1,295,684,620	669,387,652	48,560,186	717,947,838	12,272	350,150,339	149,636,907

総共済掛金額 1,150,891,363円、再共済割合 30%、再共済手数料割合 火災 40.5% 総合 10.5%

#### <引受の概要>

共済金額は、前年度実績に対して238億円減の98.2%となった。また目標に対する達成率は98.9%であった。共済種類別にみると、火災共済では対前年259億円減の97.9%となったのに対し、総合共済は20億円増の106.2%と前年度を上回る引受となった。

#### (2)団体建物

該当なし

(事 故)

(1)農家建物

項目 組合名	事故棟数	加入総保険金額 (イ) 千円	支払保険金(ロ) 円			再共済金 円	被害率 (イ) %	摘 要
			火 災	風水害等	合 計			
島 根 県 東 部	47	304,588,790	77,738,064	4,975,881	82,713,945	24,814,159	0.027	
出 雲 広 域	273	622,537,860	160,097,627	30,637,635	190,735,262	57,220,458	0.031	
石 見	132	250,621,480	70,226,267	17,284,238	87,510,505	26,253,096	0.035	
石 西 地 区	74	94,074,820	2,543,657	10,155,076	12,698,733	3,809,586	0.013	
計	526	1,271,822,950	310,605,615	63,052,830	373,658,445	112,097,299	0.029	
前 年 度	505	1,295,684,620	146,551,585	39,380,806	185,932,391	55,779,494	0.014	

<事故の概要>

前年度に比べて火災事故が多発し、自然災害や水道管破裂による水濡れ事故も多く発生したため、支払保険金は倍増した。

事故原因でみると、落雷事故が256棟で最も多く、次いで自然災害120棟、落雷を除く拡張担保事故118棟、火災事故32棟となっている。全焼した棟数は、前年より7棟増えて19棟だった。

(2)団体建物

該当なし

(3) 建物共済原因別事故発生状況

イ 農家建物

事故の原因別	事故棟数	加入総保険金額 (イ)	支払保険金 (ロ)	再共済金	被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$	摘 要
	棟	千円	円	円	%	
失 火	31	/	310,577,737	93,173,303	/	
類 焼	1		27,878	8,363		
落 雷	256		18,400,332	5,519,983		
拡 張 担 保	118		21,544,756	6,463,381		
自 然 災 害	120		23,107,742	6,932,269		
計	526	1,271,822,950	373,658,445	112,097,299	0.029	
前 年 度	505	1,295,684,620	185,932,391	55,779,494	0.014	

ロ 団体建物

該当なし

## 2 農機具損害共済

(引 受)

項 目 組合名	加入台数	保険金額	保険料			1台当たり平均 保険金額	摘 要
			純保険料	賦 課 金	合 計		
	台	千円	円	円	円	千円	
島根県東部	1,208	1,845,360	9,410,772	378,589	9,789,361	1,528	
出雲広域	3,072	5,828,430	26,193,681	1,079,754	27,273,435	1,897	
石 見	3,264	4,770,830	24,734,067	976,498	25,710,565	1,462	
石西地区	1,828	2,518,270	12,234,203	490,272	12,724,475	1,378	
計	9,372	14,962,890	72,572,723	2,925,113	75,497,836	1,597	
前 年 度	9,105	14,146,440	68,779,800	2,782,065	71,561,865	1,554	

### <引受の概要>

前年度に比べて、台数で267台、共済金額で8億1千万円増加した。引受台数を共済種類別にみると、火災共済が2,575台、総合共済が6,797台の加入。

物件別で見れば、前年度より普通物件が269台増の8,978台、農用トラックが3台減の162台、畜産用機具が1台増の232台の加入となっている。また、加入全体の中には、JA全農島根との提携事業によるものが、台数で256台、共済金額で1億円余り含まれている。

## (事 故)

項目 組合名	事故台数	加入総保険金額 (イ) 千円	支払保険金 (ロ)			被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$ %	摘 要
			火 災 円	風水害等 円	合 計 円		
島根県東部	42	1,845,360	0	7,740,322	7,740,322	0.419	
出雲広域	91	5,828,430	0	20,923,600	20,923,600	0.359	
石 見	144	4,770,830	6,819,000	33,820,486	40,639,486	0.852	
石西地区	57	2,518,270	0	8,101,317	8,101,317	0.322	
計	334	14,962,890	6,819,000	70,585,725	77,404,725	0.517	
前 年 度	327	14,146,440	141,056	49,769,422	49,910,478	0.353	

## &lt;事故の概要&gt;

前年度と比べて、事故台数はほぼ同じだが、支払保険金は2,700万円余り増加した。これは全損事故が、前年の2台から10台と増えたことが大きな要因。

機種では、コンバインとトラクタの2機種の事故が、全体の3分の2にあたる220台で発生し、合わせて4,800万円の保険金を支払っている。その他では、畜産用機具などの機種が54台、田植機49台、農用トラック10台などで事故が発生している。

原因でみると、接触153台、衝突61台、異物巻き込み53台、その他不慮の事故36台などとなっている。

(7)農機具更新共済関係

(引 受)

項目 組合名	加入台数	保険金額	減価保険金額	保 険 料			
				純保険料		賦課金	合 計
				損害部分	減価部分		
		千円	千円	円	円	円	円
島根県東部	38	30,950	30,950	191,645	4,301,900	24,033	4,517,578
出雲広域	90	146,110	146,110	726,915	21,558,673	113,983	22,399,571
石見	17	20,030	20,030	145,813	3,000,199	15,546	3,161,558
石西地区	27	39,730	39,400	135,076	5,325,836	26,800	5,487,712
計	172	236,820	236,490	1,199,449	34,186,608	180,362	35,566,419
前年度	191	254,190	253,860	1,342,813	38,485,638	195,553	40,024,004

台数、共済金額は年度末の保有高

<引受の概要>

加入台数172台の内訳は、新規引受台数が18台で、継続引受台数は154台となっている。前年度に比べて19台減ったため、共済金額では1,700万円余りの減少となった。

また、共済種類別で見ると、火災共済が35台、総合共済が137台。物件別にみると、普通物件160台、農用トラック11台、畜産用機具1台の加入となっている。

## (事 故)

項目 組合名	事 故 台 数	期 間 満 了 台 数	加入総保険金額 (イ) 千円	支 払 保 険 金			被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$ %
				火災・風水害等 (ロ) 円	期間満了によるもの 円	合 計 円	
島 根 県 東 部	3	12	30,950	55,368	8,100,000	8,155,368	0.179
出 雲 広 域	2	16	146,110	267,486	23,500,000	23,767,486	0.183
石 見	0	3	20,030	0	3,420,000	3,420,000	0.000
石 西 地 区	1	5	39,730	51,326	8,500,000	8,551,326	0.129
計	6	36	236,820	374,180	43,520,000	43,894,180	0.158
前 年 度	4	55	254,190	851,806	44,170,000	45,021,806	0.335

## 〈事故の概要〉

前年度に比べて、事故台数は2台増えたものの、一台当たりの支払額が減ったため、事故による支払保険金は約50万円弱減少した。

事故機種は、コンバイン3台、トラクタ2台、田植機1台となっている。事故原因は、接触3台、衝突、異物巻き込み、物体飛来各1台で、全損事故は発生していない。

(解 約)

組合名 \ 項目	解約台数	解約還付金
島 根 県 東 部	0 台	0 円
出 雲 広 域	1	971,156
石 見	0	0
石 西 地 区	0	0
計	1	971,156
前 年 度	4	4,510,052